

令和5年12月能代市議会定例会

市長説明要旨

令和5年12月能代市議会定例会の開会に当たり、提出議案の説明に先立ち、その後の市政及び諸般の動きなど、その大要を御報告いたします。

初めに、令和5年度のツキノワグマ出没状況についてであります。秋田県では、クマによる複数の人身被害の発生に伴い、当初は5月11日から6月30日までを期間としてツキノワグマ出没警報を発令しましたが、その後も人身被害が続いていることから発令期間が延長されてきており、今もなお警戒が呼びかけられております。

本市においても、風の松原や能代高等学校定時制課程二ツ井キャンパス付近等、人里や市街地への出没が相次いでおり、11月21日現在で人身被害はないものの、目撃件数は126件で前年度の2倍以上、捕獲頭数は70頭で前年度の5倍となっております。

市といたしましては、今後も防災行政無線等による注意喚起を行うとともに、鳥獣被害対策実施隊や関係機関等と連携しながら、人身等の被害防止に努めてまいります。

次に、7月の大雨災害への対応についてであります。大雨災害に対する義援金、寄附金等については、多数の個人・企業の方々のほか、銀河連邦の構成市町から御支援いただき、11月21日現在で計1,490万191円となっております。義援金及び寄附金の一部は、被災者の方々へ見舞金として支給することとし、10月臨時会における予算措置後、床上浸水及び床下浸水の被害を受けられたの方々へ必要書類を送付しており、11月14日から順次支給を進めております。義援金、寄附金等をお寄せいただいた皆様の御厚情に改めて深く感謝申し上げます。

災害救助法に基づく住宅の応急修理については、申込のあった37件のうち35件について審査を終えており、修理業者から工事完了報告書が提出された方の完成検査を順次行っております。

市道、林道及び河川の復旧については、市道における道路陥没や路肩決壊等の単独事業で行う補修作業や、林道における復旧を急ぐ箇所への土砂の撤去や路肩の補修は概ね完了しているほか、姥懐川については、隣接する農地の稲刈作業も終了したことから、耕作者と協議を行いながら、補修作業を進めております。また、国の災害復旧事業を活用する市道10カ所、林道4カ所及び河川3カ所については、災害査定を終え、復旧工事に向けた準備を進めております。

農地・農業用施設の復旧については、小規模な被害について、これまでに市の災害復旧支援事業費補助金の申請が55件あり、そのほとんどの箇所で復旧が完了しております。また、常盤川・種梅川周辺の被害規模が大きい箇所については、国の

災害復旧事業を活用することとし、12月の災害査定に向け準備を進めております。

悪土川の治水対策については、国・県・市が参加する米代川水系流域治水検討会が設置され、現在、具体的な対策項目の検討を行っており、今後、水害対策プロジェクトをまとめる予定となっております。また、河川改修事業の推進等について、あらゆる機会を捉え要望を行っているところであります。

市といたしましては、引き続き被災者支援に努めるとともに、早期の災害復旧に取り組んでまいります。

次に、事業承継支援事業についてであります。本年8月に実施した事業承継に関するアンケートにおいて、回答があった347件の商工業者のうち、91件、26.2%が廃業予定、64件、18.4%が後継者未定となっております。後継者不足が浮き彫りとなっております。

こうした中、少しでも多くの事業者を残すことで地域経済の維持、活性化を図り、より良い未来へつないでいくため、11月10日付で、全国の自治体と協働で事業承継支援を行っているココホレジャパン株式会社と「事業承継に関する連携協定」を締結いたしました。

今後は、承継事案の掘り起こしやマッチング事業の導入を検討するとともに、秋田県や商工団体、金融機関と連携しながら、事業承継の支援体制作りを進めてまいります。

自治体情報システムの標準化・共通化についてであります。国の自治体DX推進計画や能代市DX推進計画の目標時期である令和7年度までに、標準仕様に準拠したシステムに移行できるよう準備を進めております。

今回の標準化・共通化に関する主要なシステムである住民情報システムについては、現在、仕様の詳細を検討しており、6年度の早い時期に事業者とシステム移行に関する契約を締結し、7年度末の移行に向け、準備に万全を期してまいりたいと考えております。

バスケの街づくりについてであります。人気漫画「スラムダンク」が原作の映画「THE FIRST SLAM DUNK」が昨年12月に公開され大ヒット興行となったことから、作品に登場する強豪校のモデルと言われている現在の能代科学技術高等学校やバスケの街能代を聖地として、本市への来訪者が大幅に増加しております。

平成24年に開館した能代バスケットミュージアムの来館者数も、これまで平均で年間約4千人でありましたが、今年度は10月末までに約1万2千人が訪れており、

特に外国人の来館者数は、映画が上映された韓国や中国・台湾の方々を中心に増加し、これまで年間約100人だったものが既に400人を超えております。

市といたしましても、この機会を捉えて新たな商品開発の研究や関連事業の企画をしながら、バスケの街能代のPRや魅力向上に向けた取組を進めてまいりたいと考えております。

ふるさと納税についてであります。昨年度は、全国の皆様から過去最高となる約3億2,900万円の御寄附をいただき、天空の不夜城推進事業費等の貴重な財源として、有効に活用させていただいております。

本制度では、募集に要する経費を寄附金額の5割以下とするなど、一定の基準が設けられておりますが、国では、制度本来の趣旨に沿った運用がより適正に行われるよう、本年10月からふるさと納税制度に係る指定基準の改正を行い、これまで募集後の経費として算定外とされていたワンストップ特例申請や受領書発行に要する費用等も募集に要する経費に含まれるなど、基準が厳格化されました。

こうしたことから本市では、引き続き基準に沿った制度運用を図るため、寄附金額の値上げ等の必要な見直しを行うこととし、これまで4回にわたり事業者説明会を開催しております。

今回の基準の改正に伴い、本市を含め全国的に寄附額の値上げ等の影響が生じておりますが、市では、ふるさと納税を本市の認知度向上やイメージアップにつなげるシティプロモーションの機会と捉え、10月からはポータルサイトの運営やネット広告等に高い専門性とノウハウを持つ民間事業者へ業務全般を委託しております。今後は、委託事業者と連携し、効果的な情報発信や新たな返礼品の開発等を通じて、本市のPRや地元事業者への経済波及へつなげてまいりたいと考えております。

第43期女流本因坊戦能代市対局の誘致についてであります。11月15日に藤沢里菜女流本因坊がタイトルを防衛して4連覇を達成し、通算7回目のタイトルを獲得しております。来年度の対局日程については未定となっておりますが、これまでの開催実績を活かしながら日本棋院能代山本支部等関係者の皆様と共に、主催者の日本棋院や共同通信社に対局誘致の働きかけを行ってまいります。

今後も本因坊戦及び本因坊戦にちなんだ大会を誘致することにより、旧料亭金勇及び能代市の魅力を全国に発信するとともに、賑わいの創出や地域の活性化につなげてまいりたいと考えております。

次に、福祉保健分野の計画策定についてであります。障がい者福祉、高齢者福祉、健康づくり等の各分野において、計画期間の終了に伴い、次期計画の策定作業

を進めております。

第3次能代市障がい者計画は、障がい者施策の基本的な事項や理念等について定めるもので、令和6年度から6年間を計画期間とし、サービス提供体制の確保目標に関する事項等を定める第7期能代市障がい福祉計画・第3期能代市障がい児福祉計画と一体的に策定することとしております。

能代市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画は、高齢者の健康や生きがいづくり等の福祉施策と、要介護等認定者ができる限り住み慣れた地域で安心して生活することができるよう、6年度から3年間で必要となる介護サービスに関する整備目標等について定めるものです。介護保険料については、介護報酬改定等の詳細が年内に示されることとされており、その結果を踏まえ、設定したいと考えております。

第3期のしろ健康21計画は、市民の健康増進の推進に関する施策の基本的な方向性等について定めるもので、6年度から12年間を計画期間とし、第2期能代市自殺対策計画は、本市の自殺対策における基本的な方向性等について定めるもので、6年度から5年間を計画期間として策定することとしております。

それぞれ、現計画の取組状況やニーズ調査の結果等を踏まえるとともに、市民の皆様や有識者等で構成される各委員会・協議会での御意見等を踏まえ、計画素案の策定作業を進めているところであり、今後、議員の皆様の御意見をお伺いするとともに、パブリックコメント等を経て、年度内に策定したいと考えております。

このほか、国民健康保険の保健事業実施計画（データヘルス計画）及び特定健康診査等実施計画についても、年度内の策定に向けて作業を進めております。

また、6年度は、能代市地域福祉計画及び第2期能代市子ども・子育て支援事業計画の最終年度であり、次期計画の策定に向けてニーズ調査等の作業を進めてまいります。

次に、中国木材株式会社能代工場の操業開始についてであります。同社によりますと、国内で6カ所目の国産材製材拠点であり、東北では初めてとなる能代工場が令和6年1月に操業を開始する予定とのことであります。

本市では、同社と締結した協定に基づき、工場の建設・操業が円滑に進められるよう、これまで能代工業団地内の用地確保や法令に基づく手続き等を支援するとともに、原木置き場や製材の天日乾燥場等として活用される用地の造成、工業用水道事業の立ち上げ等に取り組んでまいりました。

1月の操業時には、能代山本地域等からの採用者53名と県外からの転勤者44名の計97名が同工場に勤務するほか、同工場への勤務に向け能代山本地域等から採用した22名が他工場での研修中とのことあります。加工工場が稼働する4月に

は、来春に市内の高校を卒業する予定の9名を含む24名を採用する見込みで、これにより能代山本地域等からの採用者は99名となるほか、同工場には、1月の操業時点で研修中であった社員も加わり、135名が勤務する予定と伺っております。将来的には能代山本地域等からの採用者を210名まで増員する予定であり、基幹産業のひとつである林業にも好影響を与えることが見込まれ、本市の最重要課題である良質な雇用の確保、若者の流出抑制・流入増加に大きく貢献するものと大変期待しております。

これまで同社は各種団体等による新工場の見学を受け入れてきておりますが、今後も協力して市民の皆様を対象とした見学会を開催するなど、新工場が早期に地域の工場として認知されるよう努めるとともに、スムーズに操業ができるよう引き続き支援してまいります。

AIオンデマンド交通「まちなかコサクル」についてであります。新たな移動手段として、あらかじめ時刻やルートを決めず、AI技術を活用し、予約状況に応じて、効率的な配車及び経路設定をする公共交通の実証運行に取り組んでおります。この取組は、本年11月1日から12月31日までの2カ月間を予定し、能代市巡回バス「はまなす号」の運行エリアに、中川原地区等を加えた市街地において、100カ所の乗降場所を設置し、実施しております。

運行開始から11月21日までに、延べ830人の方々から御利用いただき、利用者から「乗降場所が歩ける範囲に設置され、外出の機会が増える」「自分の都合に合わせた時間で利用できる」「目的地に早く着けるようになった」などの声が寄せられており、多くの市民の皆様が日常的に利用する交通手段の一つとして、市街地での交通の利便性向上が期待できると考えております。

この取組に当たっては、本市沖で洋上風力発電事業を進めている秋田能代・三種・男鹿オフショアウィンド合同会社から地域共生施策の一環として協賛を受け、街頭でのパンフレット配布等の周知活動にもサポートいただいております。

運行期間終了後には、アンケート調査や運行事業者へのヒアリング、AIシステム上の蓄積データを基に検証を行い、今後の方向性について検討を行うこととしております。

こうした取組を含め、引き続き、より利便性の高い、市民に親しまれる交通ネットワークの構築・維持に取り組んでまいります。

第3期中心市街地活性化計画についてであります。平成31年に策定した第2期中心市街地活性化計画の期間が今年度で終了することから、現在、新たな計画の策定作業を進めております。これまでに現計画の達成状況の検証・評価や各種アン

ケートの実施・分析、課題の整理等を行ってまいりました。

現計画の策定時から中心市街地を取り巻く状況は大きく変化し、マルヒコビルディング等のリノベーションした空き店舗の活用が多くなり、「のしろいち」をはじめとする新たな集客イベントが生まれ、駅前ホテル建設構想や畠町再開発等の動きもあります。

こうした動きをさらに加速するため、民間が行う新たなチャレンジに対する支援の強化や民間との連携も想定した市民プラザや畠町新拠点等の交流機能の再構築、畠町大通りの歩道・車道の憩いの場や駐車帯等としての活用、老朽化建築物の活用・建替の支援等といった視点も踏まえ、中心市街地活性化推進協議会や市議会等から御意見をいただきながら、計画策定に取り組んでまいります。

洋上風力発電事業に係る官民連携の取組等についてであります。地元企業も参画する「秋田洋上風力発電株式会社」による、能代港港湾区域内の洋上風力発電事業に対し、市、町の議会議員や商工団体、企業等、多くの方々の視察があり、11月21日時点で本市と同社による対応は、合わせて98団体、1,142人となり、昨年度の実績を上回っております。

こうした状況を受け、能代観光協会では、風力発電の視察を組み入れたツアーを実施しており、これまで10団体91人が同ツアーへ参加し、市内のホテルへの宿泊や飲食等、一定の経済効果が図られております。

加えて、同協会では9月に2回にわたり風力発電観光ガイド養成講座を実施し、市内外の19人から参加いただいたほか、10月には県内観光団体等の参加によるモニターツアーを実施したと伺っております。

市といたしましては、こうした洋上風力発電の導入による効果が継続していくよう、洋上及び陸上の風力発電事業者に対し、視察への協力のほか、地元企業の活用や雇用の創出、地域貢献等を働きかけ、そのメリットをより多くの市民が共有できるよう、官民が連携して引き続き取り組んでまいります。

次に、単行議案について御説明いたします。

能代市職員の給与に関する条例及び能代市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正は、職員の期末手当及び勤勉手当の支給割合並びに給料月額を改定しようとするものであります。

能代市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正、議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正及び能代市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正は、それぞれ期末手当の支給割合を改定しようとするものであります。

能代市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等の一部改正は、地方自治法の一部改正に伴い、会計年度任用職員に勤勉手当を支給しようとするものであります。

能代市印鑑条例の一部改正は、コンビニエンスストア等に設置されている端末機による印鑑登録証明書の交付申請について、スマートフォンを使用する方法を追加しようとするものであります。

能代市国民健康保険税条例の一部改正は、地方税法の一部改正に伴い、産前産後期間における出産被保険者の所得割額及び均等割額を減額しようとするものであります。

能代市下水道事業に地方公営企業法を適用する条例の一部改正は、能代市浄化槽整備事業に地方公営企業法を適用しようとするものであります。

このほか、能代市空家等の適切な管理に関する条例の一部改正、物品の取得、土地の処分、字の区域の変更、五能線能代・向能代間上野越橋撤去新設工事の施行に関する協定の変更について提案しております。

次に、令和5年度能代市一般会計補正予算案の概要を御説明いたします。

初めに、補正第13号は、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業及び7月14日から大雨災害に係る復旧事業について補正しております。

歳入の主なものとしては、公共土木施設災害復旧費負担金の計上、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の追加、林業施設災害復旧費補助金の計上、公共土木施設災害復旧債の追加等であります。

歳出は、民生費では電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業費5億7,760万円を、農林水産業費では令和5年7月大雨被害による農地及び農業用施設災害復旧事業費補助金5,926千円を、災害復旧費では林道災害復旧事業費5,594万4千円、道路河川災害復旧事業費2億8,860万円を追加しております。

次に補正第14号は、これまでに国、県から内示等を受けた事業について所要額を計上したほか、市単独事業は、当面緊急を要するものについて補正しております。

まず、歳入の主なものとしては、社会保障・税番号制度システム整備費補助金及び畑地化促進事業費補助金の追加、農業経営等復旧・継続支援対策事業費補助金及び小学校寄附金の計上、財政調整基金繰入金の追加、施設型給付費返還金及び中央衛生処理場整備事業（負担金）債の計上等であります。

次に歳出の主なものについて御説明いたします。

総務費においては、一般管理費2,760万円、戸籍住民基本台帳費3,212千円を、民生費においては、過年度国庫負担金等返還金として、社会福祉費と児童福祉

費を合わせて6,719万5千円を追加し、生活保護費5,056万円を計上等しております。

衛生費においては、過年度国庫負担金等返還金として保健衛生費1億5,107万9千円を計上したほか、農林水産業費においては、鳥獣被害（農作物）防止対策事業費543万8千円、畑地化促進事業費補助金875万3千円を追加し、令和5年7月大雨被害による農業経営等復旧・継続支援対策事業費補助金2,692万7千円を計上等しております。

商工費においては、能代工業団地拡張事業費（工業団地東側）306万7千円を、教育費においては、スクールDX推進事業費300万円、学校給食管理費305万4千円を追加等しております。

また、職員人件費1億125万3千円、会計年度任用職員人件費6,614万6千円の追加を関係費目に計上しております。

以上、一般会計補正予算案の概要を申し上げましたが、補正額は第13号が8億4,833万円、補正第14号が5億1,655万8千円となり、これを10月補正後の既定予算に加えますと、一般会計の総額は351億700万円となります。

このほか、令和5年度各特別会計補正予算案及び各企業会計補正予算案につきましては、提案の際、詳細に御説明いたしますので省略させていただきます。

なお、障害者支援施設、介護保険施設及び保育所等への物価高騰対策事業費補助金等に係る令和5年度能代市一般会計補正予算につきましては、後日追加提案させていただきます。

以上、よろしく御審議の上、適切な御決定を賜りますようお願い申し上げます。

